

茶 話

●…早くから水素エンジンの研究に取り組み、我が国初の水素エンジン自動車を実用化した東京都立大学（中村英夫学長）は、このほど日野自動車の協力の下、水素ハイブリッドトラックの開発に成功。十一月四日には同大五島メモリアルホールで、中村学長をはじめ片岡敏行・工学部長、研究開発に携わった同大・総合研究所の永井正幸所長、伊藤明美准教授、山根公高准教授らが出席し、水素ハイブリッドトラックの性能・構造、完成までの経緯説明、実車説明を行う。



水素HVトラック（東京都立大学提供）

このトラックは、同大が長年培ってきた水素燃料エンジンとモーターを動力とするもので、ディーゼルエンジントラックと同等の動力性能を発揮するという。水素エンジンの排出物は、水。で、CO₂を出さない。この技術の実用化はCO₂削減に大きな一石を投じ、環境問題の解決に役立つものと注目されている。

同大では今から四十年前、一九七〇年に我が国で初めて水素燃料によるエンジン駆動に成功。一九七四年には水素エンジン自動車公道を試走。一九九七年、京都サミットCOP3では、環境に優しいエンジンとして注目を集めた。以後、改良を重ね、昨年開発した水素燃料エンジン搭載バスは、我が国で初めてナンバープレートを取得し、実用化されている。